

次の文章を読んで、後の問に答えなさい。

昔、男ありけり。その男、^①身をえうなきものに思ひなして、京にはあらし、東の方に住むべき国求めにとて行きけり。もとより友とする人、一人二人して行きけり。道知れる人もなくて、惑ひ行きけり。三河の国八橋といふ所に至りぬ。そこを八橋といひけるは、水ゆく川の蜘蛛手なれば、橋を八つ渡せるによりてなむ、^②八橋といひける。その沢のほとりの木の陰に下り居て、乾飯食ひけり。その沢にかきつばたいとおもしろく咲きたり。それを見て、ある人のいはく、「^③*****といふ五文字を上句に据ゑて、旅の心を詠め。」と言ひければ、詠める。

A 唐衣きつつなれにしましあればはるばるきぬる旅をしぞ思ふ

と詠めりければ、みな人、乾飯の上に涙落としてほとびにけり。行き行きて、駿河の国に至りぬ。宇津の山に至りて、わが入らむとする道はいと暗う細きに、蔦・楓は茂り、もの心細く、すずるなるめを見ることがと思ふに、修行者会ひたり。「かかる道は、^④いかでかいまする。」と言ふを見れば、見し人なりけり。京に、その人の御もとにとて、文書きてつく。

B 駿河なるうつつの山辺のうつつにも夢にも人にあはぬなりけり

富士の山を見れば、五月のつごもりに、雪いと白う降りり。

C 時知らぬ山は富士の嶺いつとてか鹿の子まだらに雪の降るらむ

その山は、ここにたとへば、比叡の山を二十ばかり重ねあげたらむほどして、なりは塩尻のやうになむありける。なほ行き行きて、武蔵の国と下つ総の国との中にいと大きな川あり。それをすみだ河と言ふ。その河のほとりに群れ居て、思ひやれば、

^⑤限りなく遠くも来にけるかな、とわびあへるに、^⑥渡し守、「はや舟に乗れ、日も暮れぬ。」と言ふに、乗りて^ア渡らむとするに、みな人ものわびしくて、京に思ふ人なきにしもあらず。さる折しも、白き鳥の、嘴と脚と赤き、鴨の大ききなる、水の上に遊びつつ魚を^イ食ふ。京には見えぬ鳥なれば、みな人見知らず。渡し守に問ひければ、「これなむ^ウ都鳥。」と^ウ言ふを聞きて、

D 名にし負はばいざと問はむ都鳥わが思ふ人はありやなしやと
と^エ詠めりければ、舟こぞりて泣きにけり。

- (1) ①を口語訳しなさい。
- (2) ②について、「八橋」の名前の由来を、本文に即して説明しなさい。
- (3) ③について、次の各問に答えなさい。
 - (a) *****に当てはまる語を、平仮名五文字で答えなさい。
 - (b) このような技巧を何というか。答えなさい。
- (4) ④を口語訳しなさい。
- (5) ⑤を口語訳しなさい。
- (6) ⑥について、「渡し守」が動作の主体となっているのは、

~~~~ア〜エのうちどれか。一つ選び記号で答えなさい。

- (7) ⑦について、「都鳥」の様子を説明している箇所を本文中から抜き出し、初めと終わりの五字を答えなさい。ただし、解答には句読点を含まない。

- (8) **A**の和歌について解説した次の文章を読んで、後の各問に答えなさい。

Aの和歌には、様々な修辭法が用いられている。

- 「唐衣」は「き(着)つつ」の「き」にかかる**ア**で、「唐衣きつつ」は「なれ」を導き出す**イ**である。一つの言葉に二つの意味を持たせる表現技巧である**ウ**も用いられている。そして、「き」「なれ」「つま」「はるばる」は「衣」の**エ**である。

また、係り結びが用いられていて、係助詞「**オ**」の結びの語は「**カ**」で、その活用形は**キ**である。

- (a) **ア** **イ** **ウ** **エ** **オ** **カ** **キ** に適切な言葉をそれぞれ入れなさい。

- (b) **ウ**をAの和歌から三つ抜き出し、それぞれの意味を説明しなさい。

- (9) 次のX・Yの説明に一致する和歌を、**A**〜**D**から一つずつ選び記号で答えなさい。

- X 愛しい人が自分のことを思っていないことを恨む歌。

- Y 愛しい人の無事を知りたいと願う歌。

高校古典

伊勢物語「東下り」(読解)

解答

- (1) 自分の身を(都にあっても)役に立たないものと思いついで、(もう)京にはおるまい、東国の方に、住むのに適当な国を見つげに行こうと思つて出かけた。

- (2) 流れ行く川の水が蜘蛛の手足のように八つに分かれていて、橋を八つ渡しているから。

- (3) (a) かきつばた (b) 折句

- (4) どうしていらっしゃるのですか。

- (5) 本当に遠くにやって来たものだなあ

- (6) ウ

- (7) 白き鳥の嘴 く つ魚を食ふ

- (8)

- (a) **ア** 枕詞 **イ** 序詞 **ウ** 掛詞 **エ** 縁語

- オ** ぞ **カ** 思ふ **キ** 連体形

- (b) なれ…妻に「親しむ」意味と、着物を「着古す」意味。  
つま…「妻」の意味と「棲」の意味。  
はるばる…「遙々」の意味と「張る張る」の意味。

- (9) X B Y D